

多様なデータからみた豊田市都心の現状



資料：都心環境計画, 2016.3

令和元年7月3日（水） 豊田産業文化センター 小ホール
主席研究員 西堀泰英

選ばれる魅力的な都心を目指して

- 都心環境計画に示された目指すべき都心の将来の姿

森と矢作川に育まれた

祝祭・交流空間の創造

を目指します



- 4つの基本方針で取り組みが進められている
 - ・ 方針1：来街機会を増やす魅力の創出
 - ・ 方針2：滞在時間を伸ばす憩い空間の演出
 - ・ 方針3：「まち」と「さと」をつなぐアクセスの利便増進と適正化
 - ・ 方針4：歩きたくなる快適で安全な回遊環境の形成

- 5つの目標指標（右表）

- ・ 5つの指標はそれぞれ関連する
- ・ **ここでは常時モニタリングができる「①歩行者数」に着目する**
- ・ 歩行者数は約1.3倍増が目標

目標指標		
項目	H26 数値	目標値
①歩行者数	78 千人/日	100 千人/日
②鉄道・バス利用者数※1	47 千人/日	62 千人/日
③施設利用数	370 万人/年	480 万人/年
④商業の売上高	190 億円/年※2	265 億円/年※3
⑤満足度（にぎわい、魅力、うるおい、愛着度等）	25%※4	32%

※1 バス利用者数は、おいでんバスの豊田市発着路線の全利用者数

※2 平成25年数値

※3 平成31年目標数値

※4 数値は、にぎわいのみ

資料：都心環境計画, 2016

きっかけ

- ◆ 都心のまちづくりの役に立ちたい！

- 都心では「都心環境計画」や「あそべるとよた」などの取り組みが進められている
- 研究所としても、都心のまちづくりの役に立ちたい

- ◆ 都心のいろんなデータが有効に使える？

- 歩行者通行量の常時観測データやフリーパーキングの利用実績など継続的に蓄積されているデータや、様々な機関が実施した意識調査結果が、まちづくりにも使えるのでは？
- どんな使い方ができるか考えよう

様々なデータから 豊田市都心の現状を ご紹介します

都心で収集される様々なデータ

◆ 下表に示す様々なデータの一部を用いて実態を紹介

データ	概要	本発表での利用
1 歩行者自動計測機データ（パロッシー）※欄外に写真	中心市街地に設置した監視カメラ画像から通行量を計測したデータ 歩行者通行量の総量を把握できる	○
2 フリーパーキング認証データ	利用駐車場、入庫・出庫時刻、認証施設が紐づいたデータ	○
3 意識調査データ	TTRI独自調査 豊田市美術館調査 フリーパーキング駐車場利用者調査 その他調査	○ ○ ○ ○
4 パーソントリップ調査データ	人の動きを把握する第5回中京都市圏PT調査のデータ	○
5 既存調査報告書各種統計データ	都心に関する様々な調査・検討結果、統計データから、現状や問題・課題を把握する	○
6 豊田市Free Wi-Fiデータ	Wi-Fiアクセスポイントにアクセスした端末数のデータ	
7 おいでんバス利用実績	おいでんバスの日報データ	
8 イベント開催日	来訪者の増減等の理由を考察するために用いる	

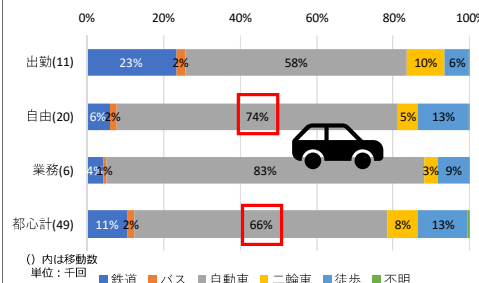


パロッシーの写真

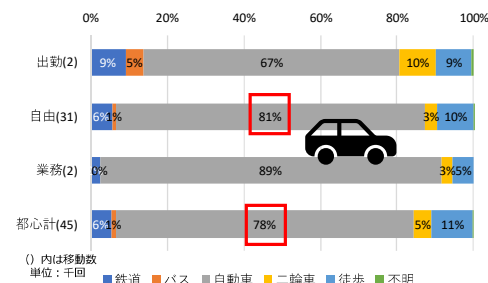
5

来訪者の7～8割が自動車利用

- 都心に到着する移動の自動車の割合
平日：66% 休日：78%
- 自由目的（買い物や娯楽等）は自動車の割合が比較的高い



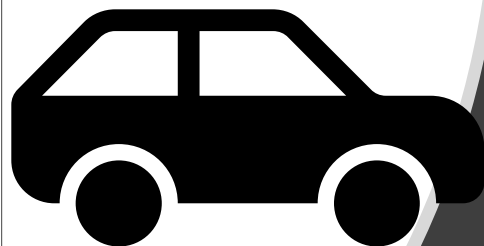
平日の目的別・手段分担率
(目的は出勤、自由、業務のみ表示)



休日の目的別・手段分担率
(目的は出勤、自由、業務のみ表示)

資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査データを集計

6



自動車で くる 人の動き

皆さんも見覚えやご経験があると思います



2018.8.19 14時頃（待ち時間10分以上）

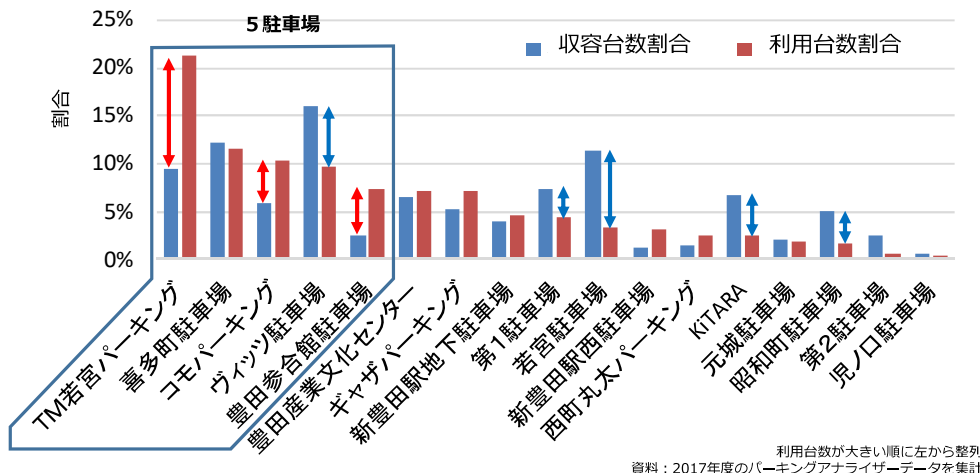


2018.8.11 12時頃（待ち時間2～3分）

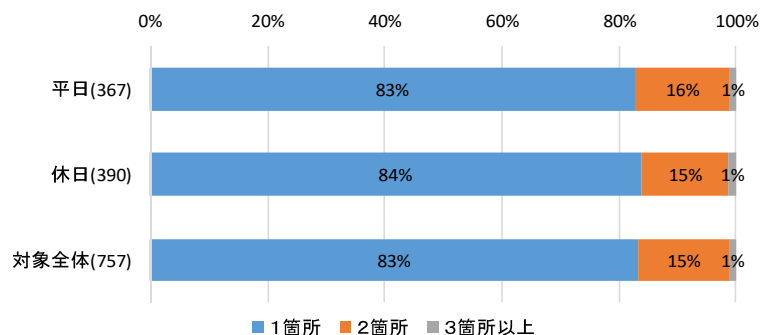
8

混雑する駐車場に利用が集中

- 約45%の収容台数を占める 5 駐車場を60%の台数が利用



立ち寄りが1箇所の駐車場利用者 83%



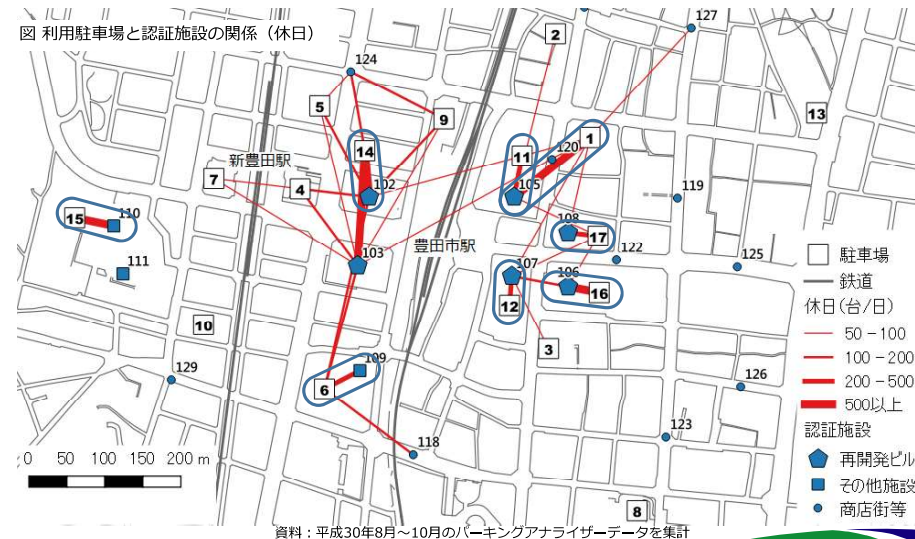
資料：平成29年度フリーパーキングの利用に関するアンケート（全日調査）データを集計

駐車場が附属する施設の利用 60%超

（駐車場から道路に出ずに移動できる施設）

- 駐車場が附属する施設の認証割合（青囲み箇所）

平日：62%、休日：60%



整理すると…

- ◆ 都心来訪者の7～8割が自動車利用

（フリーパーキング加盟駐車場）

- ◆ 駐車場利用者は、まち中を出歩かない傾向にある

- 公共交通利用来訪者の動きは未知 → 今年度研究します！

- ◆ 駐車場利用者の行動を変えれば、歩行者量を増やすことができる可能性がある



- もしも行動を変えずに歩行者量1.3倍を達成したら…

- ◆ 特定駐車場の混雑がさらにひどくなる？

- 駐車場の使い勝手が悪くなり、魅力の低下を招くかも…

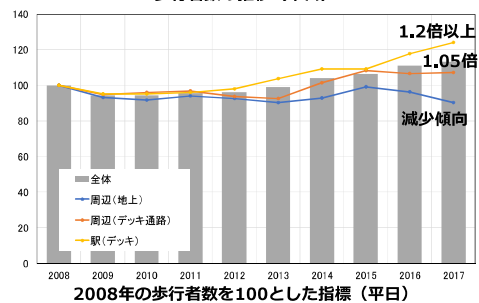
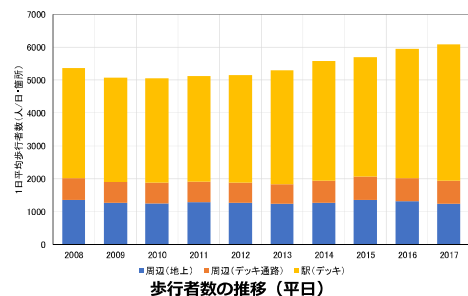
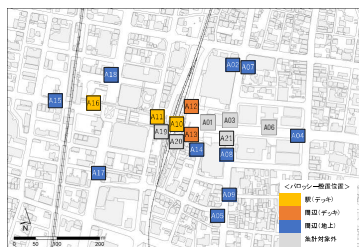


- ◆ 特定駐車場への集中是正、公共交通来訪者のさらなる誘致、駐車場利用者の回遊誘発 が課題



都心内での 人の動き

- ◆ 平日の駅(デッキ)の歩行者数は2008年比1.2倍以上
- ◆ 東側デッキ通路は1.05倍程度
- ◆ 一方、駅から離れると減少傾向で量も少ない
- ◆ デッキからまちへの人の誘引が課題

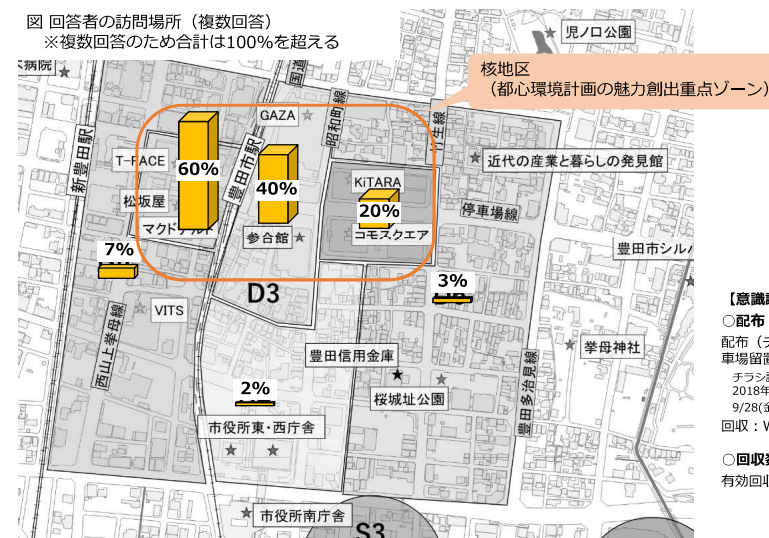


資料：パロツシーデータを集計

- 広い都心の中でも中心部の核地区に人が集中している

図 回答者の訪問場所（複数回答）

※複数回答のため合計は100%を超える



資料：TTRI調査結果（2018年実施）

【意識調査の概要】

○配布・回収方法

配布（チラシ）：街頭配布、駐車場留置き、施設留置き

チラシ設置期間：
2018年9月下旬～10月末
9/28(金)、10/14(日)に街頭配布
回収：Webアンケート

○回收数

有效回收数：225件

思い描く「歩行量1.3倍」達成時の姿

- ◆ 広場などの公共空間で人々が思い思いに過ごす
- ◆ 駅前に限らず都心の各地を歩行者がそぞろ歩く

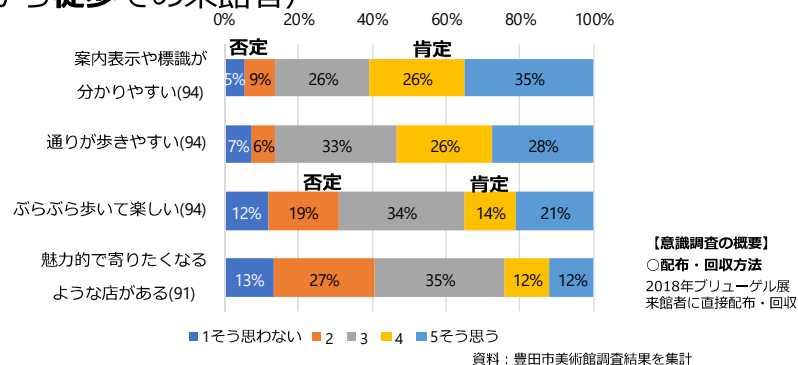


都心の集客拠点のひとつ
美術館来訪者の意見を分析
※企画展毎に意識調査を実施

資料：都心環境計画，2016.3

「歩いて楽しい道・魅力的なお店」が弱い

- 駅から美術館までの経路についてどう感じたか
(駅から徒歩での来館者)



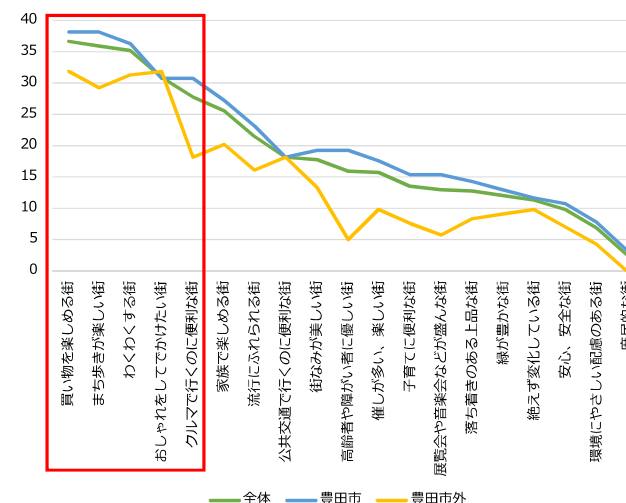
- 特に市外からの人の意見が厳しい傾向

◆ 歩いて楽しい魅力的なまちをつなぐことが課題

他の調査でも類似の傾向が見られる

- 豊田市中心市街地に不足しているイメージ

- 買い物を楽しめる街、まち歩きが楽しい街、わくわくする街、おしゃれをしてでかけたい街、クルマで行くのに便利な街



分析結果を踏まえた課題

◆ 都心来訪者の利便性と魅力の向上に向けた課題

課題1
駐車場利用の分散化

将来に向けて、フリーパーキング制度のあり方を考えていくことができないか？

課題2
公共交通での来訪のさらなる促進

フリーパーキング制度のように、公共交通利用者への来訪コスト支援ができないか？

課題3
まちをつなぐ

『軸』だけでなく通りや小径でまちをつなぐことができないか？



分析結果を踏まえた課題

課題1：駐車場利用の分散化

◆ 駐車場の需要と供給を調整する様々な方法がある

- コインパーキングは場所で料金を変えて需要と供給を調整している
- 米国ではリアルタイムに駐車料金を変えて受給を調整する事例がある



米国サンフランシスコでは混雑状況で駐車料金を変えて全体の需要を最適化
駐車料金はWebで確認できる 資料：SFMTAホームページ

◆ 将来に向けてフリーパーキングのあり方を検討しては？

21

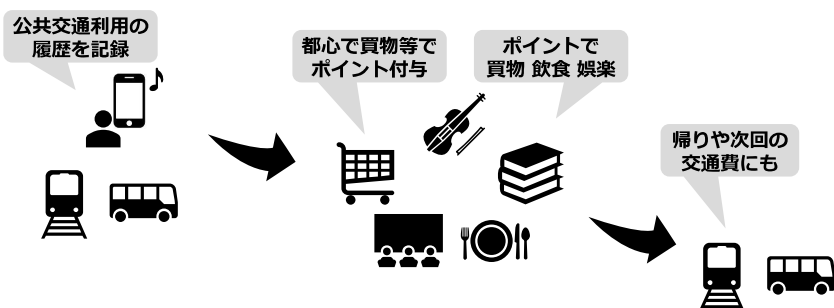
課題2：公共交通での来訪のさらなる促進

◆ フリーパーキング制度は自動車利用者に対する補助

- 平均的な駐車時間を120分とすれば1台あたり600円を補助

◆ 公共交通利用者への補助があっても良いのでは？

- 例えば、公共交通利用＆都心で買い物などへのポイント付与
- 新規顧客獲得につながることも期待される

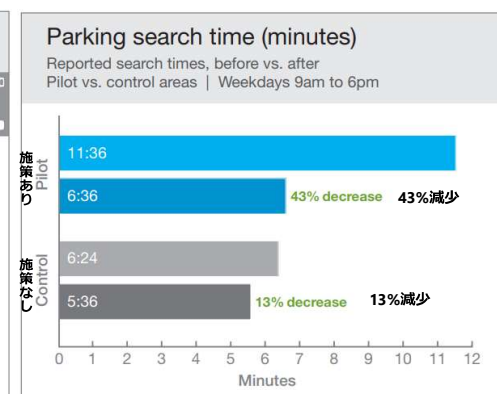
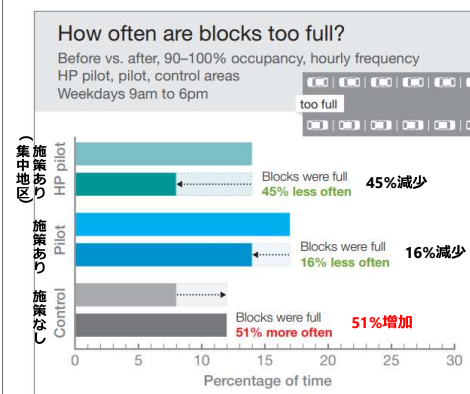


23

サンフランシスコの事例の効果

◆ 満車時間の割合 最大45%減

◆ 駐車場探索時間 43%減



資料 SF park, SFMTA: Sfpark Pilot Project Evaluation Summary, 2014.

22

ショッピングモールの取り組み

◆ 県内のショッピングモールには交通ICカードを利用したポイント付与サービスを実施する例も



資料 イオンモール長久手ホームページ



資料 プライムツリー赤池ホームページ

24

課題3：まちをつなぐ

◆ まちをつなげることを考えても良いのでは？

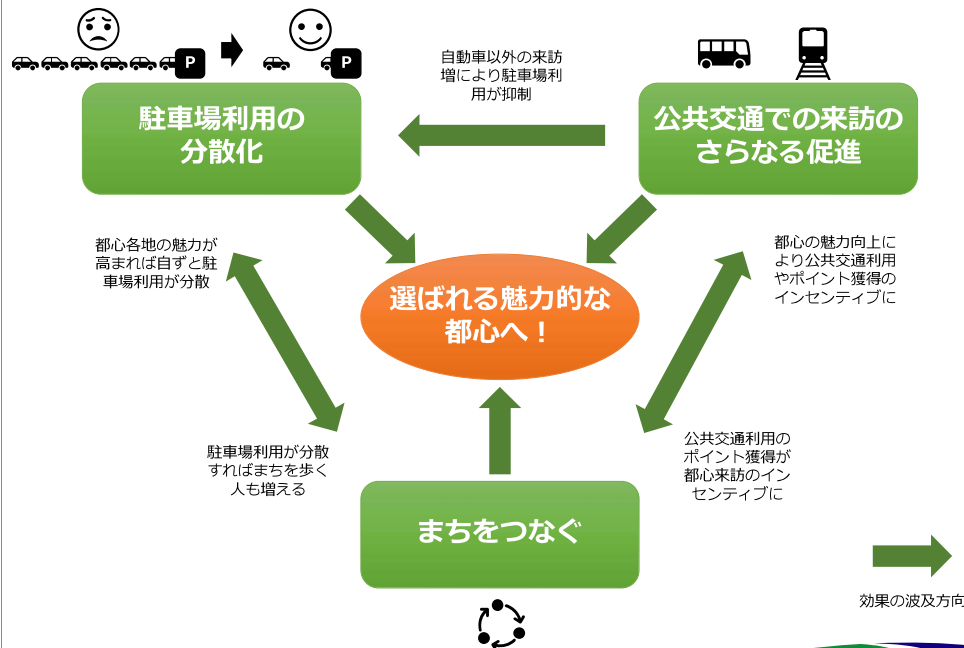
- 道や歩道がただつながっているだけではだめ
- まちなみがつながることで歩く動機が生まれる
- おすすめ周遊ルートの提案があるとなおよい



写真 左：北3条広場、右：すわろうテラス いずれも札幌市内

25

施策のパッケージによる相乗効果を期待



27

札幌の事例の効果

◆ 北3条広場(アカブラ)では年間20回前後※のイベントを開催

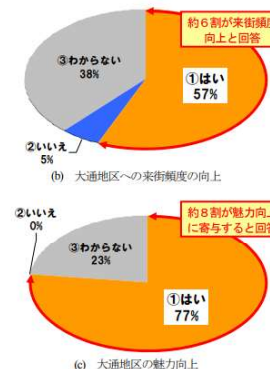
※札幌市北3条広場「アカブラ」ホームページよりTTRI調べ

新しい札幌の顔として、この広場ならではの催しに活用されています。



資料 札幌市北3条広場「アカブラ」パンフレット

◆ すわろうテラスは利用者からも高評価を得ている



資料 仲田ら：国道36号札幌駅前通大通地区における道路空間を活用した賑わい創出（寒地土木研究所資料、2013）

26

選ばれる魅力的な都心の実現に向けて

◆ 課題1・2は、過去に議論や試行された事例がある

- 過去の議論や試行の結果実現していない
- 過去と比べて、ICTの普及など条件は整っている
→やり方を変えてチャレンジ
 - スマホ等の普及によりリアルタイム情報提供やリコメンドが可能に
 - IoT技術でアプリ利用者の移動手段や買物履歴等の把握が可能に

◆ 課題3は都心環境計画や中心市街地活性化基本計画の考え方に沿うもの

- 今回の分析結果からも、これらの計画推進の必要性を示す、後ろ盾となる結果が得られた
→どんどん推進していくべき

◆ 都心のいろんなデータでこれらの課題に対する対策の必要性を改めて確認

28

**都心環境計画で描く
都心の将来の姿の実現を応援します**

ご清聴ありがとうございました